

Rotary



よいことの ために 手をとりあおう

Weekly Bulletin Vol.70 No.43 2025-2026 RI会長 フランчесコ・アレツォ 泉大津ロータリークラブ (創立1956.5.4)

週報 第3339回

会長 杉本 憲一 副会長 中 透
幹事 細川 嘉則 SAA 川崎 久典

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日12:30~13:30



泉大津ロータリークラブ
Izumiotsu Rotary Club

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス info@izumiotsu-rc.org
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



今週の例会 (2026年6月12日) 第3339回

■ プログラム

卓話担当 泉谷 仁博 会員

■ 次週のプログラム

6月19日: 「一年を振り返って」
会長・幹事・SAA

■ 今後の予定

6月26日: 最終例会・懇親会

■ 祝 誕生日

なし

■ 今月のロータリーソング

奉仕の理想

今月の歌

かたつむり

でんでん虫々 かたつむり
お前の頭は どこにある
角だせ 槍だせ 頭だせ

■ 先週の例会

会長の時間



杉本 憲一 会長

皆さま、本日は「ロータリー親睦活動月間」について、あらためて一緒に考えてみたいと思います。

6月は、国際ロータリーが定める特別月間の一つで、「ロータリー親睦活動月間」とされています。これは、クラブだけでなく、ロータリアン一人ひとりが、ロータリーの活動に積極的に参加し、親睦を通じてつながりを深めることを意識するための月間です。

そもそも、ロータリーはどのように始まったのでしょうか。1905年、アメリカのシカゴで、若い弁護士ポール・ハリスが、友人三人と集まったことが出発点だとされています。当時のシカゴは人の出入りが激しく、人と人とのつながりが薄れがちな時代でした。そのなかで、

信頼できる仲間と友情を育みたい、そして職業人として公正な取引ができる場をつくりたい、という思いから生まれたのがロータリーでした。この小さな集まりは、まさに「親睦」から始まったと言えます。

しかし、親睦だけで終わらないのがロータリーの特徴です。友情を深めるうちに、「自分たちの職業や力を生かして、社会の役に立つことができるのではないか」という発想が生まれ、やがて「奉仕の理想」がロータリーの中心的な理念となっていきました。ロータリーの目的には、「奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること」と掲げられていますが、この背景には、親睦から始まったつながりが、奉仕へと広がっていった歴史があります。

では、なぜ今、あらためて「親睦活動月間」が必要なのでしょう。一つには、私たちのクラブ運営にとって、親睦が「土台」そのものだからだと思います。例会での何気ない会話や、親睦行事での笑いや語らいを通じて、互いの人柄や価値観、考え方を知ることができます。その積み重ねが、奉仕活動で何か課題が起きたときの信頼関係や、遠慮なく意見を言い合える雰囲気につながっていきます。

また、親睦は会員維持や新会員の受け入れにも大きな役割を果たします。「このクラブは居心地が良い」「ここに来ると元気が出る」と感じてもらえるかどうかは、奉仕プロジェクトの内容だけでなく、親睦の空気に大きく左右されます。逆に、雰囲気がぎくしゃくしてしまったり、お互いの顔と名前は知っていても、よく話したことがないままだと、新しい会員もなかなかクラブに溶け込めません。親睦活動月間は、そうしたクラブの雰囲気を見直し、「もっと話してみよう」「あの人を誘ってみよう」と一歩踏み出すきっかけになる月間だと言えます。

そしてもう一つ、親睦活動月間には、「参加の輪を広げる」という意味があります。国際ロータリーの資料でも、特別月間は、クラブだけでなく、一人ひとりのロータリアンがロータリーの活動に参加するよう促すために設けられているとされています。親睦の場に参加してみることで、まだよく知らなかった委員会の活動を知るきっかけになったり、新しい奉仕のアイデアが生まれやすくなります。

では、私たちのクラブに当てはめると、

2か月ごとの席替えで普段あまり話す機会のない会員と、テーブルを囲んでゆっくり話してみる。家族例会、クリスマス家族例会を通じて、ロータリーでの自分の姿を見てもらう。あるいは、新たな取り組みとして、他クラブとの合同の親睦例会を開催して、他クラブと親睦・交流を深めるのも良いと思います。そうした一つひとつが、クラブの歴史を少しずつ豊かにしていくのだと思います。

最後に、ロータリーは「親睦と奉仕」とよく言われますが、この二つは切り離せないものだと感じます。親睦があるからこそ、安心して奉仕に取り組めますし、奉仕を共にすることで、さらに深い親睦が生まれます。

しかし、私としては年度最後の月に親睦活動月間を持つてくるのではなく年初の7月の方が良いと思っています。皆さんはどう思いますか。以上で、ロータリー親睦活動月間についてのお話を終わります。ご清聴ありがとうございました。

幹事報告

細川 嘉則 幹事

- 会費の値上げに伴うクラブ細則の改正につきましてですが、これにつきましては細則の方に規定されていますので、クラブ会員の承認を得る必要があります。ということで3週間先の6月26日(金)の最終例会で、会員の皆様のご承認を得るための、臨時総会を開催させていただきます。皆さん、値上げの趣旨および細則改正の内容を十分ご理解いただきご意見、ご質問のある方は、幹事細川までご連絡をいただきますようお願い致します。
- 高石ロータリークラブ例会変更のお知らせ
6月30日(火)の例会は休会。
- メールボックスに、地区大会記録を入れさせていただいております。ご覧いただきますようお願い致します。

委員会報告

- ロータリーの友6月号の読みどころの紹介。
(森田 真一郎 会報・IT 委員長)

■ ビジター

なし

■ 出席報告 会員数40名 出席免除 0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
6/ 5	33名	7名	—	82.50%
5/15	36名	4名	1名	92.50%

■ メークアップ

榎本(5/25 ワールド大阪ロータリーEクラブ)

■ ニコニコ箱

- ・クラブアッセンブリーよろしくお願いします(杉本)
- ・各奉仕部門担当理事様、本日のクラブアッセンブリー よろしくお願ひいたします(細川)
- ・本日のクラブアッセンブリー 理事の皆様、よろしくお願ひします(川崎)
- ・家庭集会ありがとうございました(松内)

- ・お誕生日のお祝いありがとうございました(森田)
- ・欠席のお詫び(丹農)
- ・早退のお詫び(泉谷)

ニコニコ箱合計	14,000円
累計	689,500円

■ 祝 誕生日



松内 俊夫 会員(11日)

先週のプログラム

クラブアッセンブリー



瀧谷 達 クラブ奉仕部門理事

本年度クラブ奉仕部門は、会員増強・クラブ研修委員会、会報・IT委員会・親睦活動委員会の3委員会にて運営してまいりました。

会員増強・クラブ研修委員会は松内俊夫委員長のもと、会員拡大を軸に委員会を運営してまいりました。

現在、会員増強はまだ0人の現状です。年度最終まで増強にむけて全力をあげて邁進してまいります。

皆さんにおかれましても入会会員にいたる情報がございましたら、お教えいただき会員増強につなげていきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

次に会報・IT委員会は森田真一郎委員長を筆頭に、ロータリアンとしての親睦と奉仕の実践において必要な情報の収集や発信を行い、泉大津ロータリークラ

ブの活動を分かりやすく広報してきました。

引き続き会員の皆様のITリテラシー向上のサポートにも努めて参ります。

次に親睦委員会は山本博章委員長を中心に、クラブ内の会員相互の交流を深め、和やかで活発なクラブ運営を支える活動を展開してまいりました。本年度は70周年事業もあり通年の事業と異なったスケジュールもございました。

しかし、ホテル阪急レスパイヤ大阪でのクリスマス例会、ウォーキング同好会での伊丹空港散歩など、充実した事業を展開することができました。

まもなく年度が終了いたしますが、最終最後まで3委員会頑張りますので引き続きご協力よろしくおねがいします。



道正田 均 職業奉仕部門理事



今井 克範 社会奉仕部門理事

社会奉仕部門担当理事の今井克範です。当委員会は、委員長の今井克範、副委員長の泉谷会員、釜野会員、渡辺会員、森口会員、南出会員、中田会員、西田会員、岡本会員で委員会活動を実施してきました。

今年度は70周年記念事業やロータリー財団委員会として地区補助金の申請を自分自身担当したこともあり、具体的に、地域の健康問題。地域の環境問題。地域の高齢者や子どもたちへの活動をどのようにしたらよいか話あいながら進めてきました。私たちが取り組む地域としての泉大津が向き合っていることを事業の中で触れたり、実感できたら良いと考え通年事業に加え、実施しました。

まずは、地域行政が抱える課題である介護予防、健康寿命延伸を支えるため、市の実施する保健事業に参加し、今年度ロータリー財団委員会で申請した地区補助金を活用した「口腔機能測定器の導入による泉大津市口腔保健事業への支援プロジェクト」を、地域の現場での事業に触れることで、自らのこと、地域の健康づくりについて考えるきっかけを得たいと国際奉仕部門と共同で事業企画して参加しました。泉大津市の高齢介護課が実践している「カラオケでお口とあたまの生き生き講座」が、3月26日に13時半から開催されました。そこに参加して、実際の現場どうなのかに触れることができました。実際の現場は思ったより元気な高齢者が多いという印象でした。

次に、青少年の健全育成と、若者が主体的に社会課題に取り組む機会を創出するための考える場を設け、地域における子どもたちの健全育成にどのように向き合えるかを実践しました。今年度創立70周年の記念事業として泉大津の公立中学校に向けて映画上映会を昨日行ったこともあり、委員会で議論して、子どもた

ちにメッセージとして届けようと動画を作成して届けました。「心のケア」をロータリークラブとしてどう伝えることができるか、また、自分ごととして、子どもたちにつたえていく意識を共有できたのではないかと感じました。

そして、通年事業となりますが、今年も2月に献血事業を開催しました。泉大津献血推進協議会と協力し行いました。今年もクラブからハンドソープセットを粗品として、受付、採血された方にお渡ししました。泉大津市役所で2月18日開催されましたが、受付、採血で49名、RC会員が26名という実績でした。

これも通年事業ではありますが、環境保存や港湾美化啓発運動(清掃)を実施しました。例年通り5月31日の朝8時から開催されました。クラブメンバーは18名の方が朝から港湾美化啓発運動に参加いただきました。ありがとうございます。感謝いたします。

更にこれも昨年一昨年同様、青少年委員会活動として地域の諸団体と協力して、昨年同様の泉大津 Dance & Marche(ダンス&マルシェ)に協賛金拠出と後方支援を実施しました。

最後に、こども食堂、子ども居場所づくり事業を行う市内の10団体への金芽米寄付を行う事業を今年も実施しました。今年も、するなら金芽米がいいだろうと委員会で話し合い、数量は若干減りましたが、今年も10団体への寄付活動を3月から4月にかけて実施しました。米穀店で金芽米を購入してもらい、これを市の広報にて団体が米穀店へ引き取りにいくという流れで行いました。市へのおまかせになっていたこともあり、2団体は受け取りに来なかったということで、他の団体に振り分けさせていただきました。結果は予定していた数量はすべて寄付させていただきました。しかし、米穀店経由で受け取るだけの事業では、各団体へのヒアリングなども行わなかったこともあり、お米が流れただけに終わっていて、もう少し、寄付先との接点があるなど、工夫すべきだったのではないかと感じました。

今年も、通年事業に加え、活動を行いましたので、委員会活動も多様な活動として実施できたこと、一人ひとりの意識の向上にもつながったのではないかと思います。これをうけて、最終委員会での振り返りなども兼ねて委員会を開催したいと思いますの、よろしくお願ひします。以上です。本年1年ありがとうございました。



西田 佳郎 国際奉仕部門理事

本年度、国際奉仕部門の理事を担当させて頂きました西田でございます。

まず、最初に本年度委員会の皆様、一年間ご尽力いただきありがとうございました。

国際奉仕部門には、ロータリー財団委員会と米山記念奨学委員会と、グローバル基金財務委員会の三つの委員会がありますが、申し訳ございませんが、本年度は、ロータリー財団委員会の地区補助金事業しかすすめることができませんでした。

まず、国際奉仕部門の第1回委員会を3委員会合同で、昨年7月18日(金)に開催をいたしました。

本年度の地区補助金は、口腔機能測定器「健口くん」を使って、泉大津市の健康寿命を伸ばそうという事業で社会奉仕部門とともにすすめることができました。

今年1月14日(水)に泉大津市役所にて健康くんと歯ブラシ50本の贈呈式を行い、市長より感謝状をいただきました。

2回目の3委員会による合同委員会を1月30日(金)に開催をいたしました。

2月6日(金)には、例会のクラブフォーラムの時間を使って、泉大津市役所の吉野部長、清水係長、歯科衛生士の福本さんにお越しいたいただき、健口くんによる実技と健口くんが現在どんなところで活躍しているかといったシーンのご紹介をしていただきました。

3月26日(木)には、寄贈した「健口くん」が実際に社会でどのように使われているのかということで、総合福祉センター4階で、「お口とあたまの生き生き講座」を見学にいき、泉大津の健康寿命を伸ばそうという目的に役立っていることが確かめられました。

地区補助金事業以外としましては、心残りとして、グローバル奨学生の岸田隆明さんを70周年記念

式典にお誘いしたのですが、残念ながら今後数年本帰国の予定がないため、と丁寧なお断りのお返事をいただきました。叶わなかったことごさいます。

あと、次年度への引継ぎを兼ねて、次年度の地区補助金事業ですが、現在、今井康隆ロータリー財団委員長に 泉大津市役所の高齢介護課が行っている介護予防のためのサークル活動を支援する事業ということで、計画をすすめていただいております。

ここで、あらためて一年間、皆様のご協力をいただき心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

= 言動はこれに照らしてから =

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか